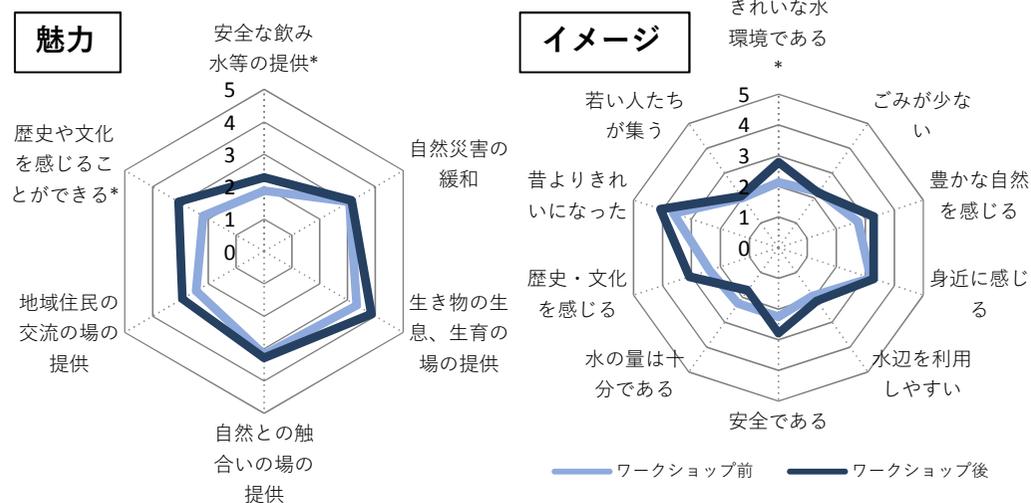


■ ワークショップを通して

- ・ワークショップを通して、参加者の河川に対する意識に良好な変化がもたらされました。
- ・これは、ワークショップ等により「身近な川を再認識したこと」や「様々な参加者の考えを共有したこと」による効果と考えられます。
- ・また、今回の参加者が「地域を担う各団体の代表者等であること」、「日常的な川との関わりの有無の違い」や「上下流域、行政区域をまたいだ広域的な参加」によるものと考えられます。
- ・地域の水環境への意識を高めていくためには、様々な利害関係者による地域対話を進めることが有効であると考えられます。



ワークショップ前後のアンケート結果
(ワークショップ前後での各項目平均点の比較)

発行：福島県環境創造センター
住所：田村郡三春町深作10番2号
電話：0247-61-6140 FAX：0247-61-6119
ホームページ：<https://www.fukushima-kankyosozu.jp>

平成29年度調査研究事業報告

新川の水環境に関する ワークショップ 開催報告



福島県環境創造センター

■ はじめに

福島県内では東日本大震災以降、水環境保全活動の参加者数の減少など、水環境への関心の低下が懸念されています。

そこで福島県環境創造センターでは、

「地域対話が水環境の関心の向上につながるか」について調査するため、いわき市を流れる「新川」の流域の皆さまにご協力いただき、

平成29年度に2回のワークショップと1回のイベントを開催しました。



○ファシリテータープロフィール

福迫 昌之

東日本国際大学 副学長、
経済経営学部 経済経営学科教授
専門はコミュニケーション論、
マスコミュニケーション論、地域社会論。



■ 第1回ワークショップ

日 時：平成29年9月28日（木）

会 場：いわき市労働福祉会館

参加者：14名

内 容：新川の魅力と課題、地域の方々の関心を高めるために必要なイベントについて、3グループに分かれて意見交換を行い、グループ毎の発表を通して、意識共有を図りました。



歴史・文化や自然環境、水質についてなど、多様な意見があげられるとともに、内郷地区と平地区での川への印象の違いなどがみられました。



■ 歴史・文化・環境などの魅力を再発見?! 新川バーチャルツアー

日 時：平成29年12月8日（金）

会 場：いわき市内郷公民館

参加者：15名

内 容：新川にまつわる地域学、関係団体の活動等について、写真等により源流から夏井川の合流地点まで順に巡りながら紹介していく「バーチャルツアー」を開催しました。



有識者の方々による流域の歴史・文化や水質・環境についての講演には、多くの参加者が関心を寄せていました。

■ 第2回ワークショップ

日 時：平成30年1月26日（金）

会 場：いわき市内郷公民館

参加者：12名

内 容：第2回ワークショップでは、第1回ワークショップであがった意見やバーチャルツアーの内容を参考に、グループに分かれて新川流域のマップを作成しました。



内郷に生息しているホタルや豊かな自然を活かした体験や炭鉱にまつわる歴史についての意見がありました。

